

U.S. Indicators

発表日: 2023 年 6 月 28 日(水)

米国 拡大ペース鈍化も景気後退まで距離(6 月 PMI)

～製造業の悪化もサービス業の拡大により民間需要は拡大継続～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel: 050-5474-7493)

23 年 6 月の S & P グローバル米国総合購買担当者指数 (PMI) は、53.0 (前月 54.3) と前月比で 1.3%p 低下したが、拡大縮小の分岐点である 50 を 4 カ月連続で上回った。3、5 月の米中堅銀行の破綻を受け信用状況が引き締まったにもかかわらず、同統計調査対象企業の活動はサービス業を中心に堅調さを維持した。民間需要の拡大持続が示されており、景気後退局面から依然距離があると判断される。

製造業は 46.3 (前月 48.4) と新規受注の大幅な悪化により前月比 2.0%p 低下し、50 を大きく下回った。グローバルな製造業部門の調整、先行き懸念を背景に、在庫削減を進めていることから、製造業は調整幅を拡大している。一方、サービス業は、54.1 (前月 54.9) と前月比 0.8%p 低下したが、高い水準を維持した。内外での人の移動の活発化による需要の強まりを背景に 5 カ月連続で 50 を上回るなど、サービス業の速いペースでの拡大を示している。

雇用関連は、製造業、サービス業ともに低下しており、雇用の増加ペース鈍化を示している。一方、インフレ関連では、投入価格指数が上昇したが、産出価格指数が低下した。特に製造業では、産出価格指数が 50.3 (前月 50.9) とグローバルな調整の影響で低下したうえ、投入価格指数が 46.0 (前月 48.1) と下落幅を拡大しており、消費者段階での財価格上昇の大幅な抑制が期待できよう。

製造業では、新規受注が 42.7 (前月 47.1)、生産が 46.9 (前月 51.0)、在庫が 42.7 (前月 46.2)、雇用が 52.4 (前月 53.1) と低下した。寄与度では、入荷遅延が前月比 +0.78%p の押し上げ寄与となった一方、新規受注が前月比▲1.33%p、生産が前月比▲1.03%p、在庫が前月比▲0.35%p、雇用が前月比▲0.13%p の押し下げ寄与となった。

サービス業では、活動指数が 54.1 (前月 54.9) と信用状況の引き締めにも関わらず、小幅の低下にとどまった。雇用が 51.4 (前月 52.7) と低下し、雇用の拡大ペース鈍化が示された。一方、新規受注が 55.5 (前月 55.7) と小幅の低下にとどまり高い水準を維持したほか、見通しを示す「将来の活動指数」が 71.5 (前月 67.9) と高い水準に上昇するなど、サービス関連企業は先行きに対して楽観的な見方を強めており、サービス業活動が堅調さを維持すると予想される。

基調をみると、総合 PMI は 4-6 月期に 53.5 と 1-3 月期の 49.7 から上昇し、米企業活動の拡大を示す水準を回復しており、米民間最終需要の加速を示している。製造業が 48.3 (1-3 月期 47.8)、サービス業が 54.2 (50.0) とともに上昇した。4-6 月期の民間最終需要は、1-3 月期に加速した反動等で鈍化するとみられるが、急激な鈍化を回避することが示唆された。

(図表) 米国購買担当者指数 (PMI) の推移



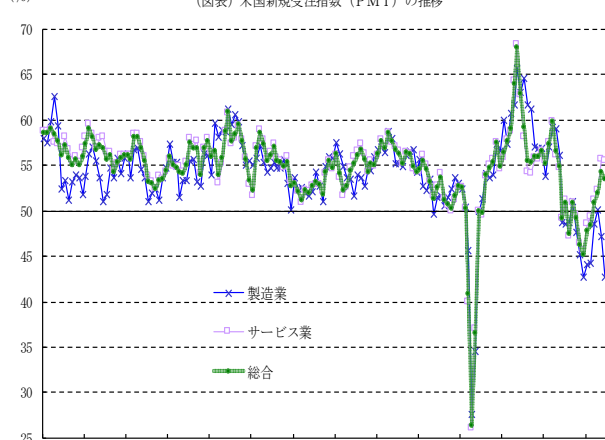
(出所) S&P Global

(図表) 米国生産・活動指数の推移



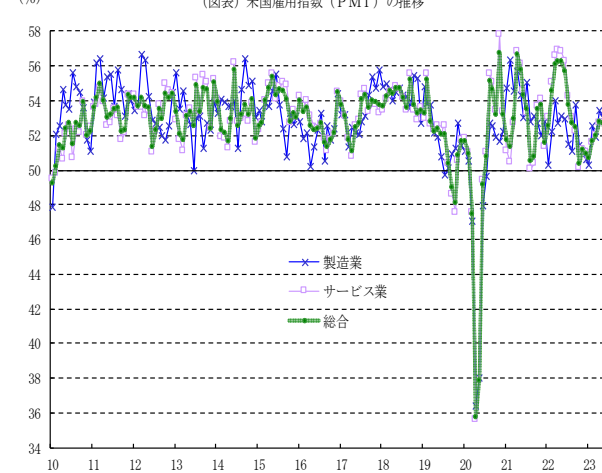
(出所) S&P Global

(図表) 米国新規受注指数 (PMI) の推移



(出所) S&P Global

(図表) 米国雇用指数 (PMI) の推移



(出所) S&P Global

(図表) 米国産出価格指数 (PMI) の推移



(出所) S&P Global

(図表) 米国投入価格指数 (PMI) の推移



(出所) S&P Global

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

